# 本会議における 議案質疑

今定例会では延べ24名の議員が質疑を行いました。
採決の際、討論を行った議案には**討論あり**と表示し、
その内容は8ページに掲載しました。

議案第61号　**討論あり**

## 令和７年度一般会計歳入歳出決算認定

初雁自由政令会｜無会派｜川越志政会｜無会派
日本共産党

**問クラウドファンディング型ふるさと納税で、仮称宮元町多目的グラウンド整備が約1400万円、新宿町一丁目広場整備が約3900万円と、目標額を大きく上回った要因は。**

答関係者や地域住民と協力しながら、ＳＮＳ等を活用した情報発信や地域の魅力を生かした返礼品の設定など、幅広い人々からの支援につながる環境を整えたことが目標達成につながった。


宮元町健康ふれあい広場

**問歳入増の要因である個人市民税が増えた理由は。**

答定額減税による減収額が縮小したことや、納税義務者数および総所得金額の増加などにより増収となった。

**問令和７年度の市民の暮らしぶりをどう捉えているのか。**

答名目賃金は上昇しているが、生活が豊かになったと実感できている人は限定的ではないかと考えられる。

**問女性支援法に基づく市の責務として何を行ったのか。**

答第七次川越市男女共同参画基本計画を策定し、困難な問題を抱える女性への支援を主要課題に加えた。また支援の担い手となる人材育成講座の企画等の準備を進めた。

**問実質収支比率が適正水準にあると考えるか。**

答本市の実質収支比率は10.4％で、中核市の平均4.2％と比べ、高い状況となっている。

**問財政調整基金への依存度をどのように評価しているか。**

答当初予算編成時に20億円以上繰り入れる状況を考慮すると、財政調整基金への依存度は低いとは言えない。

**問物価高騰対策支援事業が各家庭に与えた影響は。**

答一例として、高校生と中学生のいる子育て世帯には、子育て応援手当、学校給食費負担軽減に加え、高校生世代への支援により、５万９千円の支援を行った。

**問学校評価の活用について、評価報告書への記載は、実施の有無のみである。活用状況はどう把握しているのか。**

答評価理由および評価を踏まえた改善策について、毎年度末、全校から評価シートを提出してもらうことで、取り組み状況を把握している。

**問環境教育の推進について、各校における活動が形骸化しているとあるが、どう形骸化しているのか。**

答川越市エコチャレンジスクール認定事業が、定番化した活動や委員会活動のみの取り組みになっているなど、多くの学校で趣旨が曖昧となり、形骸化している。

**問高齢化の中、福祉分野で対応すべきことは。**

答身寄りのない高齢者や認知症への支援、在宅医療・介護連携の推進、親亡き後等の課題に対応するため、地域福祉計画等に基づき高齢者や障害のある人が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる体制の充実に取り組む。

**問農業施策はどこに重点を置いて進めていくのか。**

答中心的担い手への農地集積、設備投資支援、ほ場整備など生産性向上への取り組みとともに、農業機械の修繕支援や小規模な農業者が営農を継続できる取り組み、本市農産物の流通促進など地産地消の取り組みを推進する。

議案第72号

## 法定外税導入検討委員会条例

初雁自由政令会｜川越志政会｜政策フォーラム

**問法定外税とはどういったものか。**

答地方税法に定められた税目以外に、条例により独自に設けることのできる税目である。地方団体の課税自主権を活用した制度であり、使途を特定しない法定外普通税と特定の費用に充てる法定外目的税に分類される。

**問条例制定の背景は。**

答将来的な自主財源の確保と観光分野における行政需要に対する受益者負担の観点から、法定外税の導入について、専門的知見をはじめとするさまざまな角度から検討を進めようとするものである。

**問このタイミングで本条例を上程した理由は。**

答今後、学識経験者や関係事業者などから意見を聞き、導入の可否等の検討を進める必要があるため、上程した。